



高性能蓄電池への取り組み： ボッシュ、GS ユアサ、三菱商事が 次世代リチウムイオン電池の取り組みに向けて提携

2013 年 6 月 19 日

PI 8181 RB Rg/af

- ▶ リチウムイオン電池は、未来のモビリティの基幹コンポーネント
- ▶ 2014 年初頭から戦略的協業を開始

シュトゥットガルト／京都／東京ー ロバート・ボッシュ GmbH(本社:シュトゥットガルト／ドイツ)は、株式会社 GS ユアサ(本社:京都)および三菱商事株式会社(本社:東京)と、次世代高性能リチウムイオン電池の開発に取り組むことで合意しました。リチウムイオン電池は、未来のモビリティ、たとえばプラグイン・ハイブリッドや電気自動車の基幹コンポーネントとなるものです。3 社が目指すのは、高度な電池制御技術と先進的な電気化学・素材技術を駆使し、電池のエネルギー蓄積容量を大幅に引き上げることです。それにより電池の重量と占有スペースを減らし、電気自動車の走行距離を延ばすことができます。

3 社は合弁会社を設立する計画で、この合弁会社は共同研究開発を行い、また販売およびマーケティング面で親会社をサポートします。2014 年初頭から活動を開始する予定で、本社はドイツのシュトゥットガルトに設立されます。なお合弁会社の設立は、独占禁止法に関する関係官庁の認可取得が前提となります。

ボッシュは合弁会社の資本の 50%を、そして株式会社 GS ユアサと三菱商事株式会社が各 25%を出資します。取締役会と監査役会には、各社が出資率に応じて役員を派遣します。

ボッシュはこの合弁事業において、複雑高度な製品の大量生産に必要な生産プロセスと品質管理面のノウハウで貢献します。電池パックと電池制御システム分野で高度の専門知識を擁するボッシュは、セルとシステム全体のモニターならびに制御、および車体本体への組み込みを引き受けます。さらにボッシュは、電動化車両向けコンポーネント全般も活用しながら、この合弁事業をサポートします。

株式会社 GS ユアサは長年培ってきた大型リチウムイオン電池セルの製造実績、ならびに原材料・電気化学の研究開発分野において、新会社における次世代リチウムイオン電池の開発に貢献します。また、同社は優秀なエンジニアと車載用・非車載用のエネ

ルギー密度の高い電池セルを製造する最新の生産ラインを有しています。これらの知見や経営資源を活用し、次世代リチウムイオン電池の生産・供給においても、新会社に貢献します。

三菱商事株式会社は、総合商社として培った世界的なマーケティングネットワークを活かしながら、新会社に貢献します。リチウム資源や材料をカバーするグローバルなバリューチェーンを活用しながら、新会社に貢献します。

報道担当窓口:

Udo Rügheimer,

電話: +49 711 811-6283

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディング・カンパニーです。2012年度の従業員数は約30万6,000人、売上高は525億ユーロを計上しています。また2013年初めからは、自動車機器テクノロジー、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・建築関連テクノロジーの4事業セクター体制に移行しました。

ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社約360社、世界約50カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売、サービス代理店のネットワークを加えると、世界の約150カ国で事業展開しています。この開発、製造、販売、サービスのグローバル・ネットワークが、ボッシュのさらなる成長の基盤です。

ボッシュでは2012年に約48億ユーロもの金額を研究開発に投じ、さらに全世界では4,800件以上の国際特許の基礎特許（第一国出願）を出願しています。私たちは革新的で有益なソリューションを提供し、そのすべての製品とサービスを通して、人々を魅了し、人々の生活の質を向上させることを目的にしています。この方針に基づき、ボッシュは全世界において人と社会に役立つ革新のテクノロジーを提供し続けていきます。それこそが「Invented for life」です。

ボッシュの起源は、1886年に創業者ロバート・ボッシュ（1861～1942）がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの財務上の独立性と企業としての自立性を保証するものです。「株主（利益配当）」と「経営（議決権）」が完全に分離した企業形態によって、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式の大半は非営利組織である公益法人「ロバート・ボッシュ財団」（持株比率92%、議決権なし）が保有しています。議決権の大部分は株主の事業機能実行機関である共同経営者会「ロバート・ボッシュ工業信託合資会社」が保有しています。残りの株式と議決権は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

さらに詳しい情報は www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト（英文）
www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス（英文）を参照してください。